

「いのち」輝くまちに

心をつなぐ さわやかなあいさつ

明るいあいさつが、笑顔で交わし合えるまち・・・こんなまちこそ差別やいじめが、しだいになくなっていくでしょう。あいさつは、人と人とが理解し、協力し合う人間関係の基本です。なぜなら、それは相手を大切にすることを言葉だからです。市内では、多くの学校、地域で「オ（おはよう）ア（ありがとう）シ（失礼しました）ス（すみません）運動」、「あいさつ運動」に取り組んでいます。

考えが違う、意見が違う、言い争いをしてしまった・・・でも、その後で「おはようございます」「失礼しました」「ありがとうございました」などと明るくあいさつをすると、さらに新しいつながりが育っていきます。心にわだかまりのあるときこそ、明るいあいさつが心をつなぐキャッチボールではないでしょうか。声がかげにくいな、少し気が引けるなと思うときこそあいさつを交わすことが大切です。

また、初対面や今まで交流のなかった人でも、明るいあいさつからお互いを理解したり友達になったりしていくものです。人と人とのつながりや交流は、あいさつに始まり、あいさつによって深まります。「あの人があいさつをしてくれない」「この人は愛想が悪い」と言うのではなく、自分から笑顔で声をかけることで、周りの人もあいさつをせずにはいられない、そんな雰囲気をつくりだすことができます。こんな日々の営みが心と心をつなぎ、共に生きる明るい社会をつくりだすのです。

8月は「人権文化をすすめる市民運動強調月間」です。その実践の一つとして、まず自分から笑顔であいさつをしましょう。



このコーナーは、人権文化のあふれるまちづくりのため、「いのち」輝くまちづくりのため、市民の皆さんに問題提起や資料提供をします。

ご愛読いただき、ご家庭や街角の話題にしていただければ幸いです。

◆人権推進共同参画課 TEL 672 - 6122

兵庫県知事表彰 朝来市愛育会 和田妙子氏



この度、和田妙子氏(納座)がひようご健康づくり県民大会において、兵庫県知事表彰を受賞されました。

和田さんは、昭和61年に結成された旧朝来町愛育会の一員として20年以上の永きにわたって、赤ちゃんからお年寄りまでの健康管理、声かけ訪問を主な活動とする愛育班活動に積極的に取り組まれました。現在では朝来市愛育会員として声かけ活動はもとより、健康教室などの健康増進実践活動も展開され、地域住民の健康増進と明るく住みよいまちづくりに貢献されています。

兵庫県婦人大会開催!

7月11日(火)、朝来市和田山ジュピターホールで、平成18年度兵庫県婦人大会が開催され、県下各地から800人も女性の女性が集まりました。

北野兵庫県連合婦人会長のあいさつに続き、井上市長が開催市として、歓迎のあいさつをしました。この大会は、婦人会活動に尽力された方の表彰やその時々の婦人会が取り組むべき諸問題について研鑽を行うもので、今年も、井戸兵庫県知事が「未来の兵庫のために家族と地域の絆を見直そう」と題して



講演され、「少子高齢化問題の解決のためには家族と地域の絆が大切であり、そのためには女性の皆さんの活動が大きな役割を果たす」と話されました。

人権福祉講演会のおしらせ

- 日時 9月16日(土) 13:30～15:00
- 場所 生野メインホール
- 演題 「夫のかわりはおりまへん」
- 講師 江村利雄氏 (前 高槻市長)

※妻の介護を理由に、99年4月に市長の任期を1年近く残して辞任された、江村氏の体験談を講演していただきます。

●問い合わせ 人権推進共同参画課 TEL 672 - 6122